

津軽広域連合地球温暖化対策実行計画に基づく令和3年度の点検結果について

令和4年4月20日

津軽広域連合では、温室効果ガスの排出を抑制し地球温暖化の防止を図る目的として、平成30年3月に「津軽広域連合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しました。

当連合では、本計画に基づき温室効果ガス排出抑制目標の実現に向け、地球温暖化対策の推進を図ることとしています。

- 計画期間：平成29年度 から 令和3年度まで（5年間）
- 基準年度：平成28年度
- 目標年度：令和 3年度
- 対象とする温室効果ガス：二酸化炭素
- エネルギー項目：電気、LPガス、灯油、ガソリン
- 資源項目：水道、一般廃棄物、コピー用紙

温室効果ガスの排出削減目標

平成28年度 (基準年度)	令和3年度 (目標年度)	削減目標
220,491 kg-CO ₂	214,239 kg-CO ₂	△2.84%

1 令和3年度の点検結果

		平成28年度	令和3年度		
		(基準年度)	(目標)	(実績)	増減率 (目標比)
温室効果ガス削減率	%		△2.84	△41.44	—
温室効果ガス排出量	kg-CO ₂	220,491	214,239	129,109.2	△39.74%
(エネルギー項目内訳)					
電力使用量	kwh	390,008	371,057	345,946.3	△6.77%
LPガス使用量	m ³	328	328	330.4	0.73%
灯油使用量	リットル	1,704	3,380	1,524	△54.91%
ガソリン使用量	リットル	744	702	373.7	△46.77%
(資源項目)					
水道	m ³	141	141	156.9	11.28%
一般廃棄物	kg	108,993	97,573	69,550.3	△28.72%
コピー用紙	kg	2,280	1,958	1,820.1	△7.04%

2 令和3年度の点検結果の分析及び今後の取組

令和3年度における温室効果ガス排出量は 129,109.2 kg-CO₂ となり、基準年度である平成28年度と比較して 41.44%減少し、令和3年度の削減目標（△2.84%）を達成することができました。

LP ガス使用量は、ヒロロ全体の空調設備に利用されるガスの使用量が増加したことに伴い、事務局の使用量も増加したため目標を達成できませんでした。また水道使用量は、クリーンセンターへし尿等の搬入が増加したことにより目標を達成できませんでした。

一方で、上記以外の項目はすべて目標を達成し、特に灯油およびガソリンの使用量は大きく減少しました。

今後も省エネルギー対策を進めるとともに、職員一人一人が事務や事業における温室効果ガス排出の削減行動を推進し、環境負荷の低減に取り組んでいきます。